

小町の館リニューアル オープン後の周辺開発 について



鈴木一彦 議員

質問 新治地区には、常陸秋そばの生産者として大臣表彰を受ける方もおり、そば粉を利用した特産品の開発を市がバックアップする考えがあるか伺います。

産業部長 新治地区は良質な常陸土浦市農業公社では、地元産のそば粉を全国に向けて出荷し、安定生産を図るとともに、消費拡大とそばを通じた地域産業の振興に努めている。これまで11月に行っていた小町ふれあい祭りの実施回数を増やし、定期的に実施するなど、小町の里の賑わいづくりと本地域の活性化につながる取り組みとなるよう改善を図りたい。

また、小町の里の農産物直売所では、農家の方が持ち寄った新鮮野菜を販売するとともに、地元産の常陸秋そばを使った手打ちそばを提供し

ており、地元の方の地道な活動を、今後も積極的に支援してまいりたい。

新商品の開発については、常陸秋そば、米、柿、ミカン、ユズなど、地元産の農産物を活かした小町の里ならではの新たなおみやげ品づくりについて、生産農家や商工会等関係機関と連携を図り、研究してまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
博物館「婆娑羅」の武装の成果と今後の課題

都区内・りんかいフリー きつぷの復活に向けた JRへの要請について



久松 猛 議員

質問 都区内・りんかいフリーきつぷは、便利な切符で多くの利用者に喜ばれてきたが3月31日に廃止された。JRへの復活の働きかけについて伺います。

市長 都区内・りんかいフリーきつぷは、往復の乗車券と都区内間での乗り降り自由となる企画切符であつ

たが、JRによるとSuicaの普及を背景に、フリーきつぷの販売数が減少したことから販売が終了したものである。

常磐線の利便性の向上は、沿線自治体の地域振興を図る上でも喫緊の課題と思っていることから、私が会長を務めている茨城県南常磐線輸送力増強期成同盟会において、今年度の運動方針として、都区内・りんかいフリー切符の復活を重点要望として位置付けし、総会に諮るつもりでいる。

さらに、県内19市町村で組織している茨城県常磐線整備促進期成同盟会及び常磐線東京駅・横浜駅乗り入れ推進協議会にも協力をいただき、行政と産業界を挙げて要望の働きかけをする所存である。

(掲載以外の質問事項)
・障害者手帳を持たない難病患者へのサービスについて
・防災対策として公共施設への井戸の設置計画について
・土浦市公園里親制度実施要綱第5条について



マイナンバー制度について



福田一夫 議員

質問 マイナンバー制度について、市民周知の意図合いも込めて、この制度の概要及び市民にとってのメリットはどのようなことが考えられるか伺います。

市長 国民一人ひとりに番号を割り振り、個人情報をもとに番号を基に管理するマイナンバー制度が平成28年1月からスタートする。

各年金の支給に関する事務、医療保険の保険料徴収手続や各種の福祉手当の給付、確定申告や届け出事務等の行政手続上の利用は認められているが、現在、民間利用は認められていない。

市民へのメリットは、医療・介護・保育・障害者自立支援に掛かる費用の総合算制度の導入や、継続的な健診情報・予防接種履歴の確認、各種申請を行う際の所得証明や住民票の添付不要等が考えられて

いる。

国の示す運用開始までのスケジュールでは、平成27年の10月、十数市のマイナンバーが居住する市町村長から通知され、通知を受けた住民は、平成28年の1月から居住する市町村に申請すると写真付きの番号カードが無料で発行され、年金に関する相談や税の申告書等の公共サービスが開始されることになる。

他市からの行政視察がありました

本市の取組を他市町村のまちづくりのご参考にいただき、また、他市町村のまちづくりに関する取組を参考にさせていただき、行政視察を受け入れています。

◎平成 25 年 7 月 23 日
…愛知県刈谷市議会

【土浦市防犯ステーション
まちばんについて】

